

問5 生活に必要な情報の入手媒体

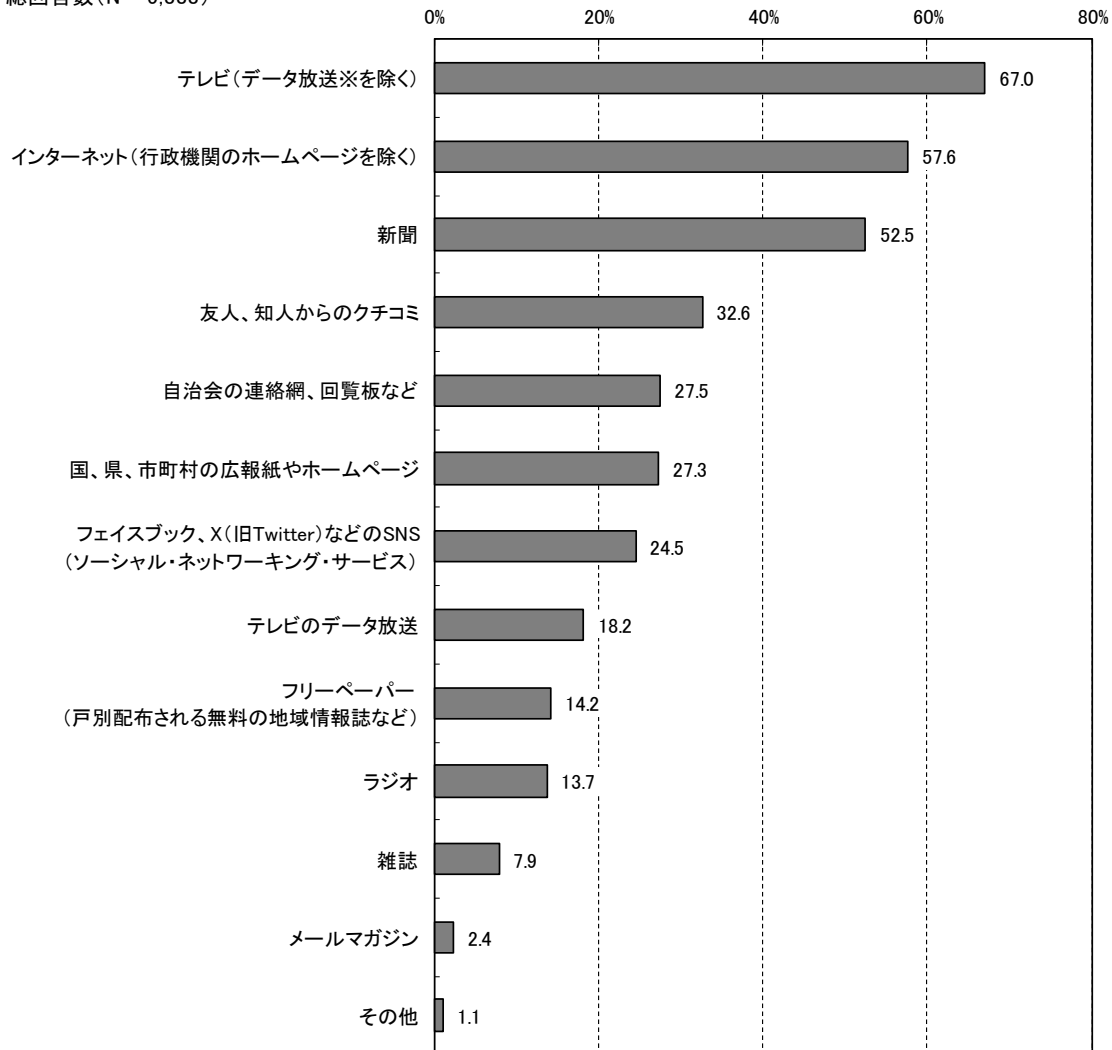
問5 あなたは、生活に必要な情報を何から得ていますか。(いくつでも)

全体(図5-1)で見ると、「テレビ(データ放送を除く)」が67.0%と最も高く、次いで「インターネット(行政機関のホームページを除く)」(57.6%)、「新聞」(52.5%)の順となっている。

図5-1 生活に必要な情報の入手媒体

回答者数(n = 1,699)

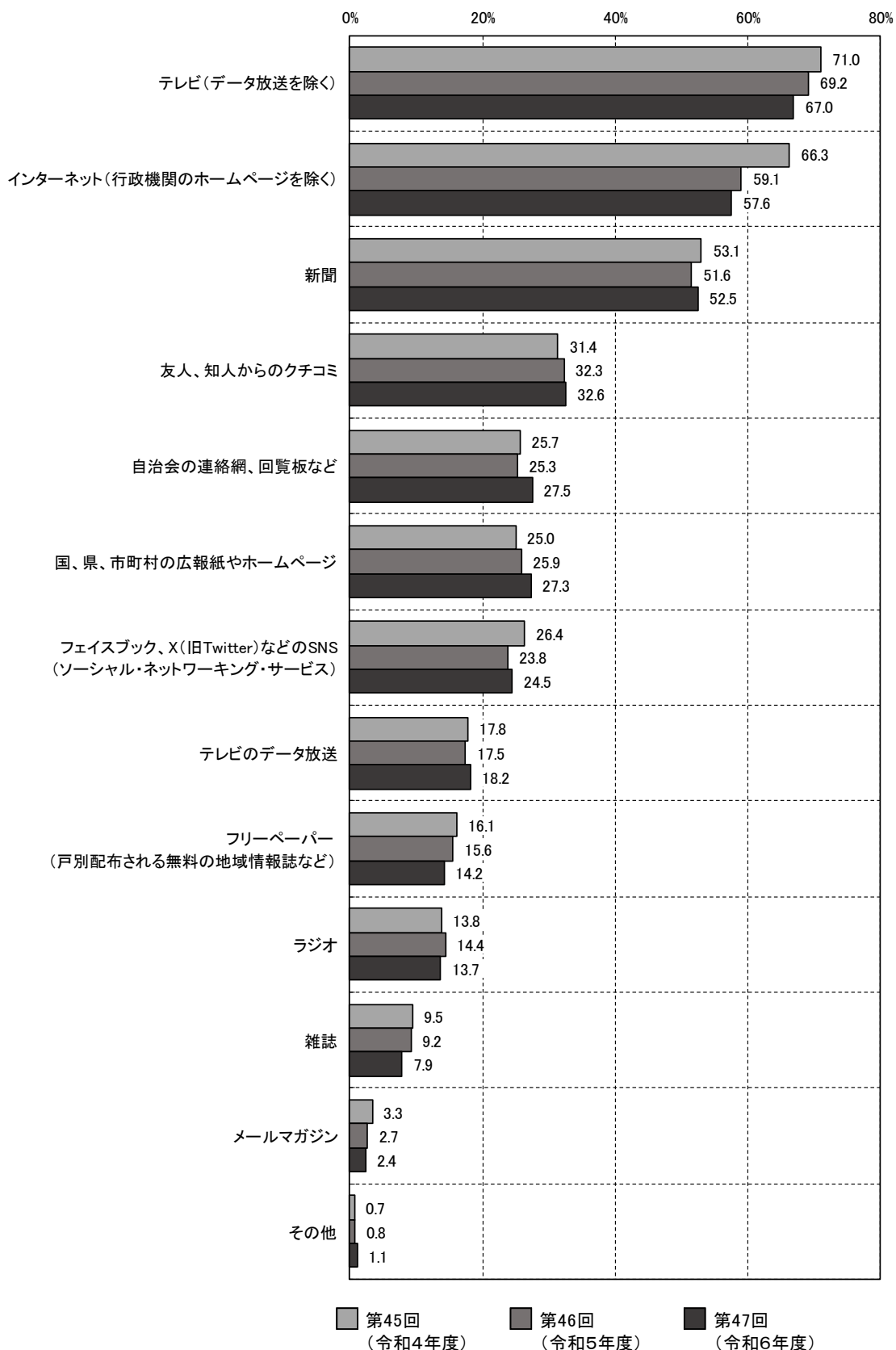
総回答数(N = 5,888)



※ データ放送:リモコンの「dボタン」を押すと天気やニュースなどの情報を入手できるサービス

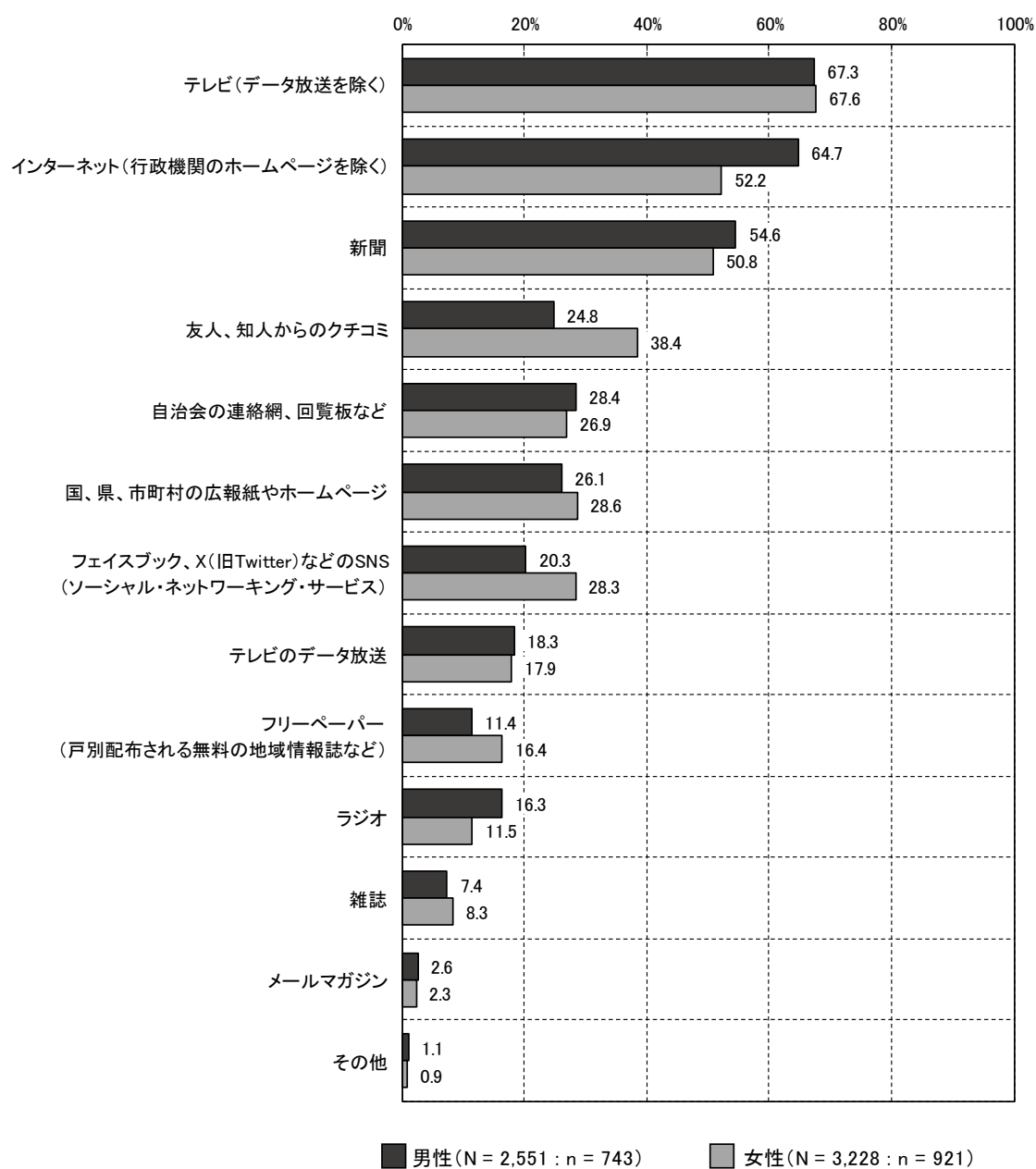
前々回・前回比較（図 5-2）で見ると、前々回・前回・今回と一貫して「テレビ（データ放送を除く）」が最も高くなっている。また、「テレビ（データ放送を除く）」、「インターネット（行政機関のホームページを除く）」が年々低くなっている。

図 5-2 【前々回・前回比較】生活に必要な情報の入手媒体



性別（図5-3）で見ると、男女ともに「テレビ（データ放送を除く）」が最も高くなっている。また、「インターネット（行政機関のホームページを除く）」では男性が女性より12.5ポイント、「友人、知人からのクチコミ」では女性が男性より13.6ポイント高くなっている。

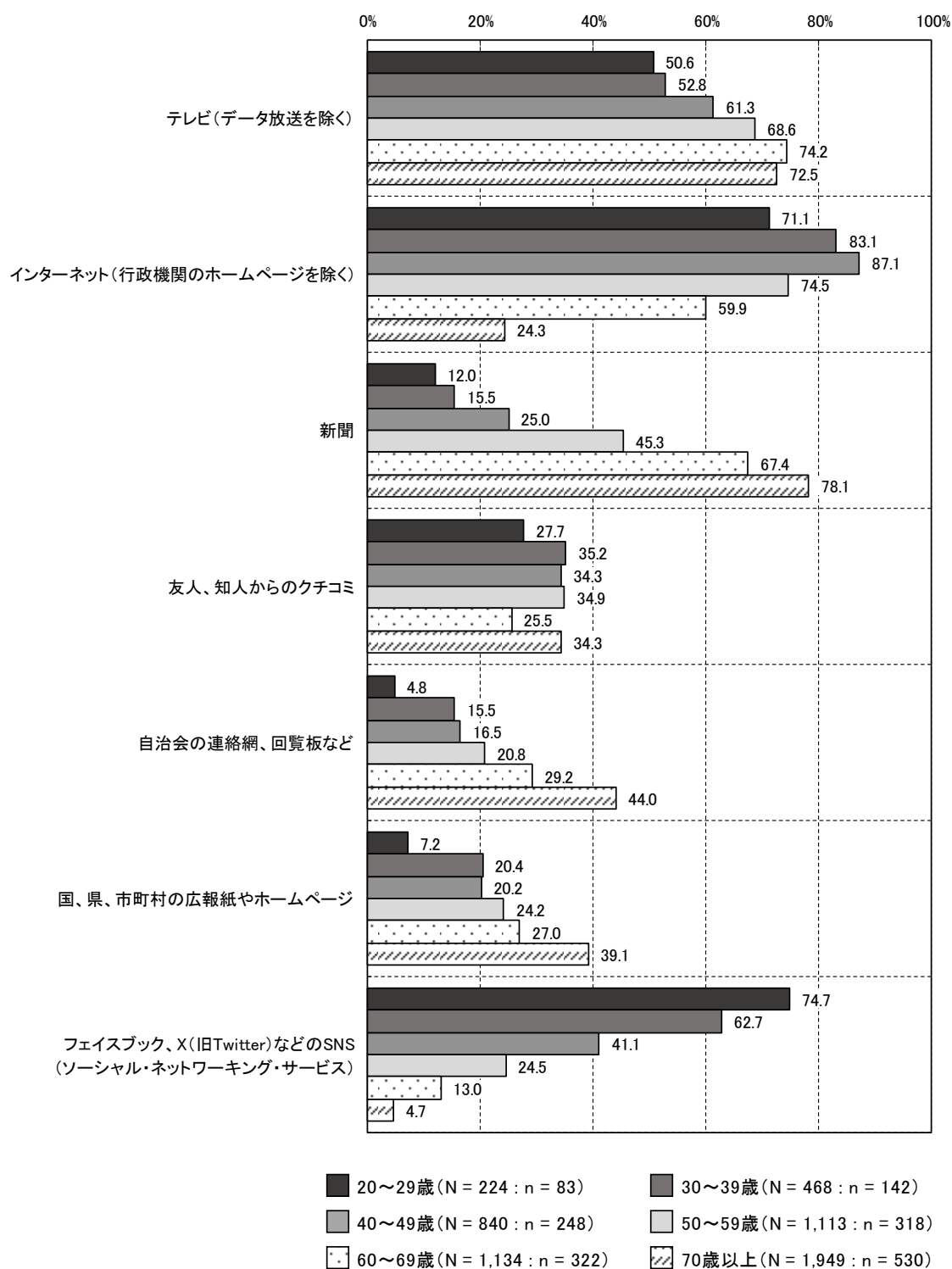
図 5-3 【性別】 生活に必要な情報の入手媒体



※ N=総回答数 n=回答者数

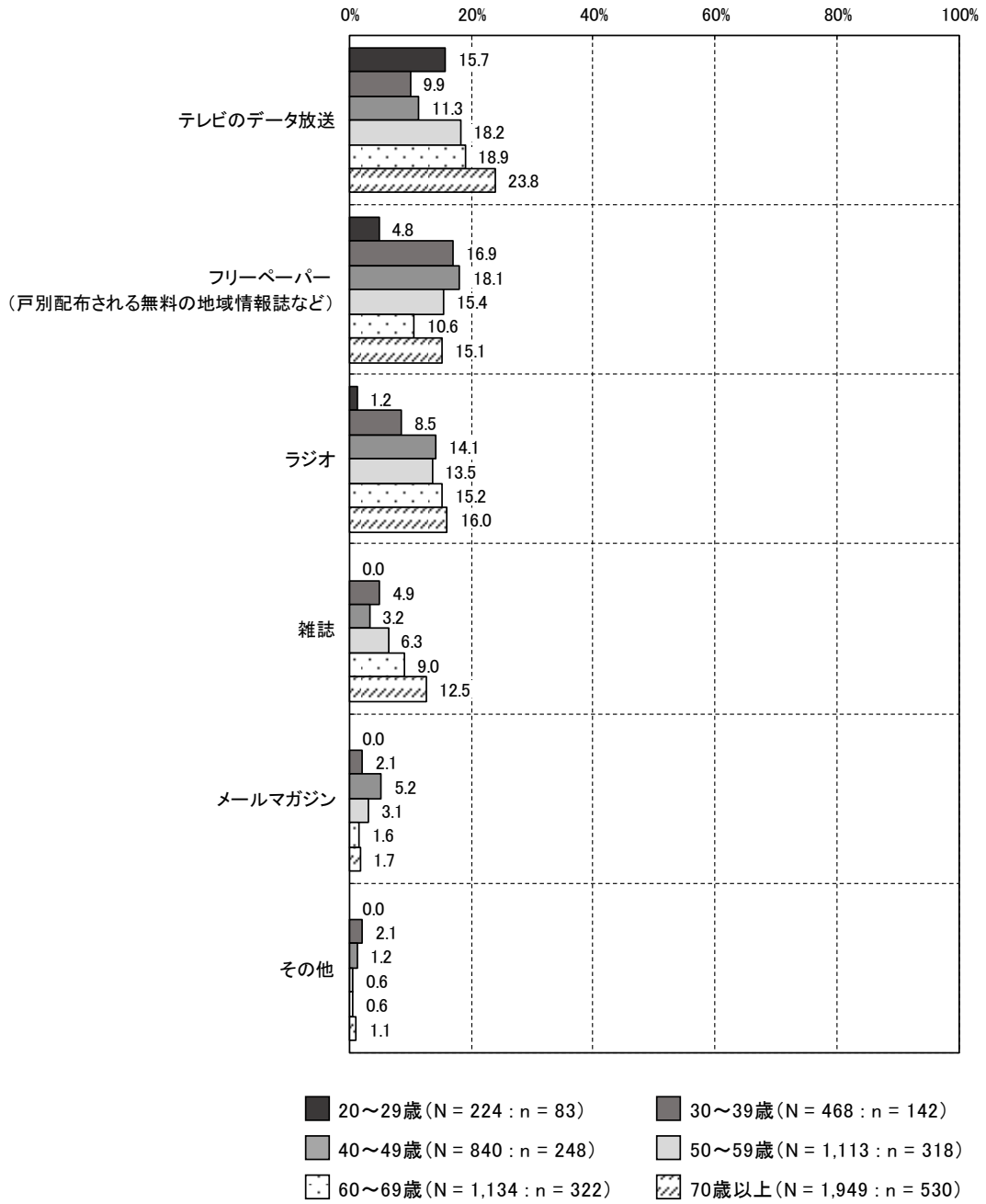
年代別（図 5-4）でみると、20 歳代では「フェイスブック、X（旧 Twitter）などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」、30 歳代、40 歳代、50 歳代では「インターネット（行政機関のホームページを除く）」、60 歳代では「テレビ（データ放送を除く）」、70 歳以上では「新聞」が最も高くなっている。また、「新聞」、「自治会の連絡網、回覧板など」は年代が上がるにつれて、「フェイスブック、X（旧 Twitter）などの SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）」は年代が下がるにつれて高くなっている。

図 5-4 【年代別】生活に必要な情報の入手媒体



※ N=総回答数 n=回答者数

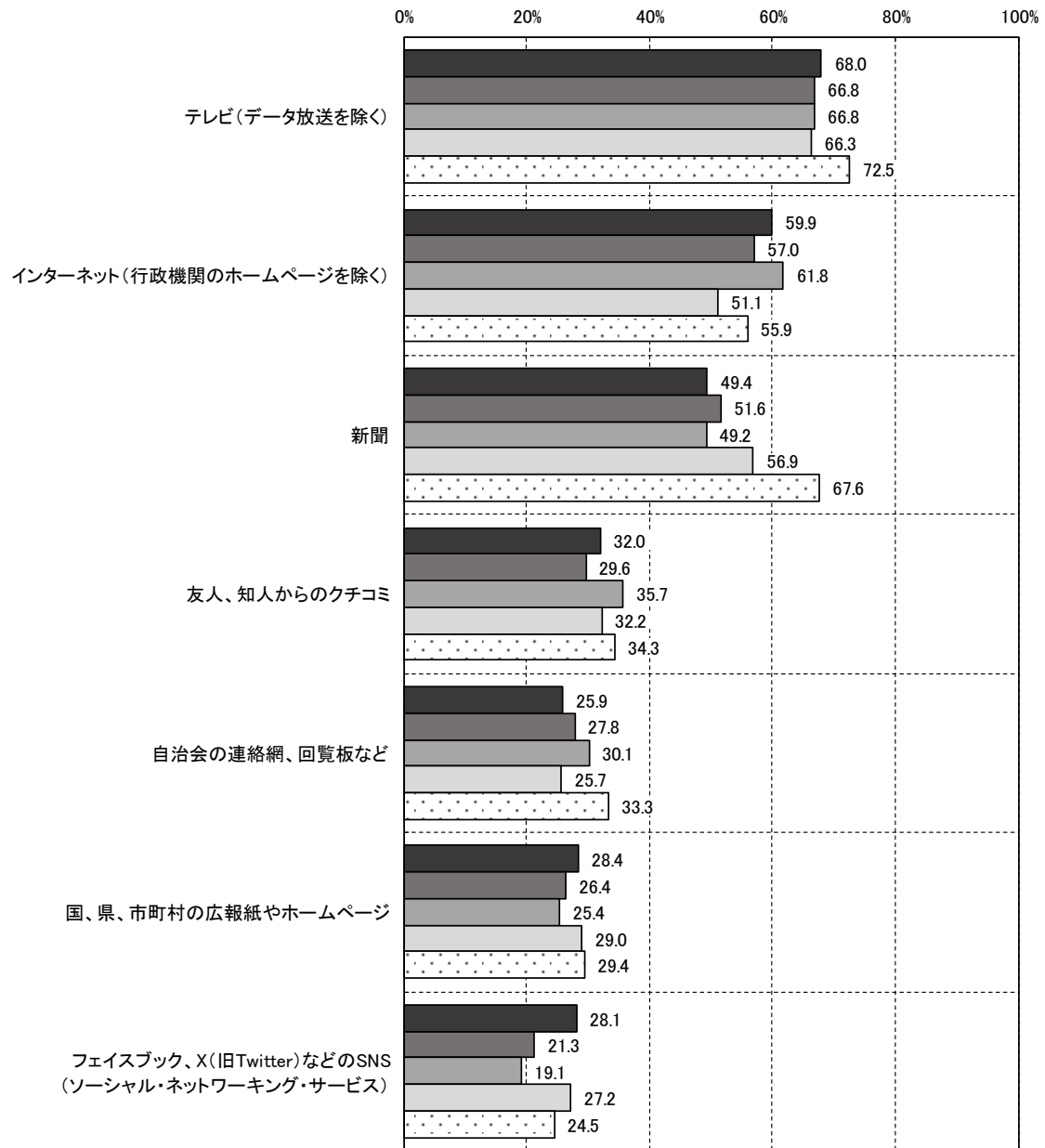
図 5-4 【年代別】生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数

居住圏域別（図 5-5）でみると、いずれの居住圏域においても「テレビ（データ放送を除く）」が最も高く、次いで岐阜圏域、西濃圏域、中濃圏域では「インターネット（行政機関のホームページを除く）」となっており、東濃圏域、飛騨圏域では「新聞」となっている。

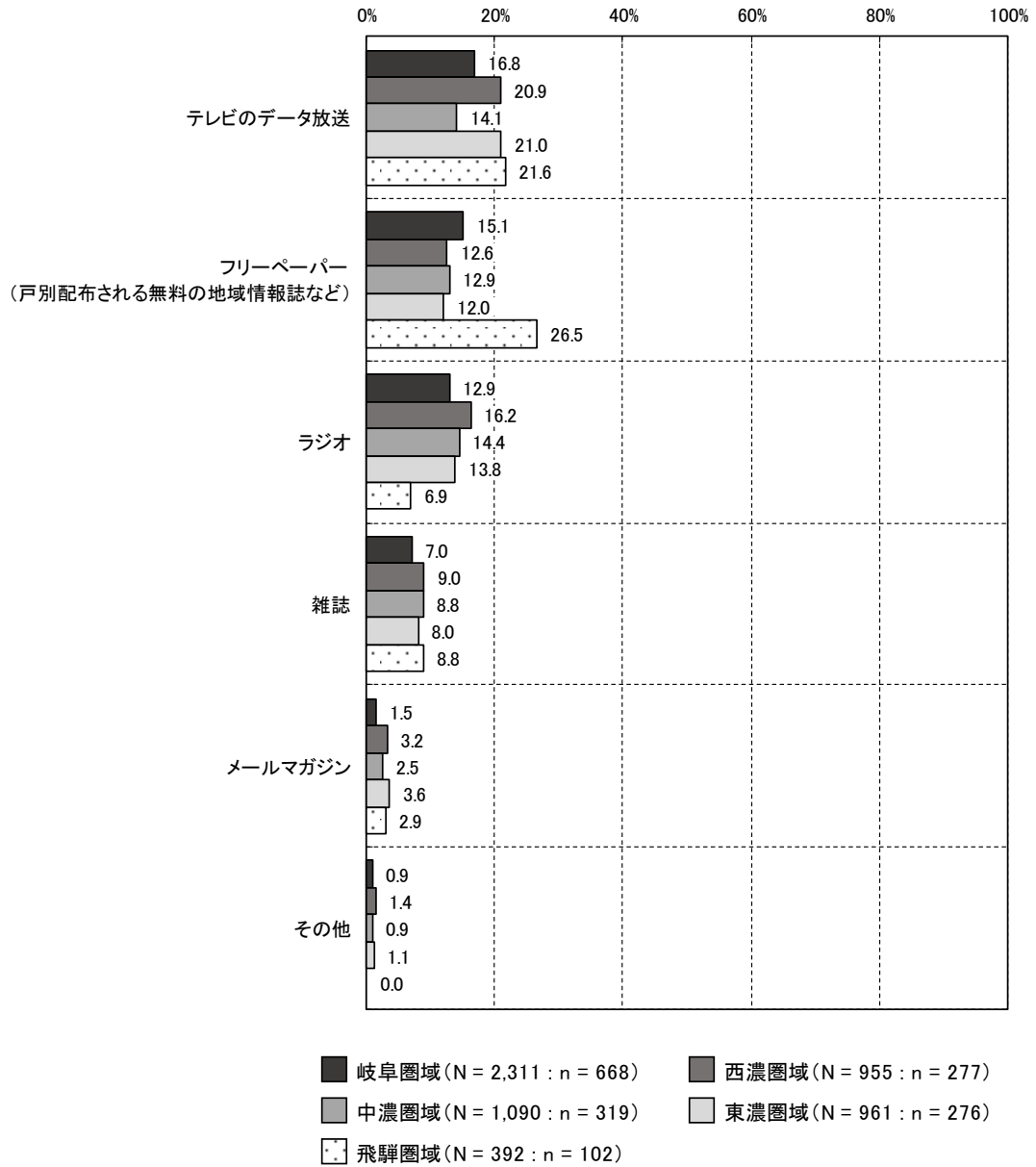
図 5-5 【居住圏域別】生活に必要な情報の入手媒体



■ 岐阜圏域 (N = 2,311 : n = 668) ■ 西濃圏域 (N = 955 : n = 277)
 ■ 中濃圏域 (N = 1,090 : n = 319) ■ 東濃圏域 (N = 961 : n = 276)
 ■ 飛騨圏域 (N = 392 : n = 102)

※ N=総回答数 n=回答者数

図 5-5 【居住圏域別】生活に必要な情報の入手媒体（続き）



※ N=総回答数 n=回答者数